

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

| | | |
|-----------|--|---------------------|
| 事業名称 | 令和4年度にしく市民活動支援センター運営事業 | |
| 事業の実施者 | 団体等 | 特定非営利活動法人市民セクターよこはま |
| | 行政 | 西区役所 地域振興課 |
| 事業の目的 | 市民公益活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、区民力の向上による豊かな地域づくりを図ること。 | |
| 事業の内容 | 市民公益活動に関する相談対応、情報提供・発信、活動の場（轻易な打合せスペース等）の提供、地域人材ボランティアバンク事業に関すること、区民利用施設等との連携による活動支援や団体運営の支援など | |
| 役割及び責任分担等 | 次頁のとおり | |
| 実施期間 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日 | |

| 記入日 | 令和5年5月23日 |
|-----|---|
| 記入者 | <p>[団体等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま ・記入責任者 氏名： 加世田 恵美子 連絡先： 045-620-6624 <p>[行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 西区役所地域振興課 ・記入責任者 地域振興課長 氏名： 大益 利之 連絡先： 045-320-8393 |

役割及び責任分担等

| 事業項目 | 受託者の役割 | 委託者の役割 |
|------------------------------------|---|---|
| にしく市民活動支援センターの管理運営に関すること | 1 設備の管理 2 軽微な維持修繕 | 1 設備の提供 2 設備の管理に関する調整及び協力 |
| にしく市民活動支援センター事業に関すること | 1 市民公益活動等のネットワーク化 2 市民公益活動等の相談対応 3 市民公益活動等に関する情報提供・発信 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施 6 区民利用施設等との連携による活動支援 7 自主企画事業の企画・実施 8 西区地域づくり大学校の企画・運営 9 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援 | 1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力 2 市民公益活動等の相談対応についての調整及び協力 3 市民公益活動等に関する情報提供・発信についての調整及び協力 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力 6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力 7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力 8 西区地域づくり大学校の企画・運営補助 9 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援についての調整及び協力 |
| 事業改善に関すること | 1 利用者のニーズ把握とサービス向上 2 運営事業団体として必要になる事業の検証 3 横浜市として必要になる事業の検証への協力 | 1 利用者のニーズ把握とサービス向上についての調整及び協力 2 運営事業団体として必要になる事業の検証への協力 3 横浜市として必要になる事業の検証 |
| その他支援センターの管理運営等にあたり必要となる事務事業に関すること | 1 利用統計 2 運営事業団体として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究 4 その他、区が行う市民公益活動等に関する施策・事業への協力 | 1 利用統計についての調整及び協力 2 横浜市として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究についての調整及び協力 4 横浜市役所内部の連絡調整 |

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できしたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できしたことや認識に違いがあったこと】

- ・毎月の定例会議を通して、にしても広場利用者情報や地域活動状況を共有することができた。
- ・実施事業内容を共有することで、相互に方針のアドバイスや広報協力をすることができた。
- ・年度当初に双方の予定事業について共有し、お互いの強みや協働の方向性を確認することができた。
- ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策をしつつ、スムーズなセンター運営ができるよう、センター運営事務の取扱い等について都度確認を行った。

【今後改善が必要と思われること】

- ・センターと地域振興課双方の役割分担を明確にする必要がある。
- ・新型コロナウイルス対策の状況は今後変化していくことが見込まれるが、ミーティングスペース利用の取扱いや会場確保など、センターが適正な運営ができるよう一層連携する必要がある。

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できしたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できしたことや認識に違いがあったこと】

- ・センターと地域振興課、相互の実施事業に参加・協力することで、それぞれの事業内容をより深く理解することができた。
- ・地域振興課主催講座（にしく ICT サポーター養成講座、にしく魅力発見・発信講座）について、企画段階からセンターと情報共有を行い、助言や協力をいただくことで、より良い事業実施につなげることができた。
- ・イベント等の開催場所について、区役所内会議室を適宜手配することで、利用制限人数の範囲内で、多くの参加者を受け入れることができた。
- ・月 1 回の定例会議を行い、センターに寄せられる相談や利用者の様子、双方の事業進捗、課題等について共有、確認を行うことができた。

(以下具体的な事業例)

- ・地域振興課主催令和 3 年度「にしくスマホサポーター」養成講座修了生のフォロー、情報共有
- ・「すきなもん広場」カルタの回、その後の動きなど情報共有
- ・西区民まつりブース出展、アンケート実施 など

【今後改善が必要と思われること】

- ・地域振興課事業で養成したボランティアをセンターにつなぎ、継続的な活動支援を行う必要がある。
- ・事業実施後の活動支援についても、センターと区の協力体制を整える必要がある。
- ・にしても広場のもつ情報やネットワークを区役所内で共有・活用してもらうため、引き続き、区役所各課に向けて、にしても広場の周知や情報発信の方法を検討する必要がある。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・毎月の定例会議を通して、にしても広場利用者情報や地域活動状況を共有することにより、地域のニーズに則した生涯学習講座を実施することができた。
- ・西区民まつりの日替わりブースに出展していただくなど、地域振興課とセンターで連携して、にしても広場の活動 PR を行うことができた。
- ・地域振興課主催講座（にしく ICT サポーター養成講座、にしく魅力発見・発信講座）では、センターから助言をいただきつつ、オンライン開催やアプリを使った PR など、ICT を活用しながら実施することができた。また、次年度以降の継続的な活動につなげられるよう、講座受講者の意見交換会の場の提供に向けて検討することができた。
- ・区庁舎内の避難訓練へのセンターの参加や発災時の対応等の共有について、今年度、総務課担当者と話し合う機会を持つことができた。毎年確認の機会として必要と考えるため、今後も継続したい。
- ・昨年に引き続き、地域振興課が主催する意味、にしても広場と共に事業を共有しながら事業を進めることができた。

自由記入欄

- ・オンライン会議などを効果的に活用することで、引き続き感染症対策を取りながら講座や交流の場を設けることができた。また、アプリを使った事業 PR など、ICT を活用して事業を実施することができた。
- ・引き続き、相互のネットワークや情報を共有し、より効果的な協働事業の実施を目指す。
- ・定例会に限らず必要に応じて話し合いの時間を持つなど、双方の強みが発揮できるよう、しっかりと認識あわせをして連携していきます。